

庁舎機能の移転・集約 再度の説明会の意見は反映できるのか



蒼生会 武藤 義彦 議員

市長

2回目も丁寧に説明し 市民の不安解消と理解を得られるように努める



■どうなる旧角館総合病院の解体

庁舎機能の移転・集約について

質問 田沢湖・西木庁舎は15年後を目途に整理解体の方向性を示しているが、選択は次世代に委ねるとしている。田沢湖・西木庁舎及び30年後の上野庁舎解体費の概算額がどの程度になるか伺う。また、15年後の職員数についても伺う。

答弁 現時点での概算で、田沢湖庁舎が約1億円、西木庁舎、西木総合開発センタ1、西木第二庁舎の合計で1億1千万円、角館上野庁舎が約8千4百万円と見込んで

いる。

15年後の職員数は、将来人口や職員減少率から推計すると240人から250人程度であり、まだ、角館庁舎一つには収まらないと想定している。

質問 神代、田沢、松木内、上松木内の各出張所の中にも老朽化が進んでいる施設がある。公共施設等総合管理計画では、松木内出張所（公民館）は廃止とし、他施設への機能集約を検討するとしているが、今後各出張所の利用形態を含めてどのような方向性を示していくのか伺う。

答弁 松木内出張所のある松木内公民館は、耐用年数も過ぎていくことから、他の施設への機能移転を検討している。他の出張所も存続の方針だが、施設の老朽化に伴い、他の施設へ機能移転することになるが、出張機能はそれぞれの地区に維持していく。

質問 年明けに再度住民説明会を実施するが、市民の意見を計画に反映させることができるのか伺う。

答弁 1回目の住民説明会では、移転・集約後の田沢湖、西木庁舎の在り方について、具体的な説明が必要と感じ

た。生保内地区は、市民サービス窓口や公民館機能、健康を守る市立病院、市唯一の市民会館を核に、人口減少社会に対応した新たなまちづくりを市民と共に考えていくこと。

西木地区は、既存機能の活用や併用などにより、コンパクトな複合型の拠点にする。1月の市民説明会では、前述のほか、1回目の説明会でいただいた意見への対応を資料に掲載し、市民の不安を解消し、理解を得られるように努めたい。

クマ対策について

質問 今年度の熊の捕獲頭数、農作物等の被害状況について伺う。

答弁 11月末現在の熊の有害捕獲頭数は147頭、狩猟数は7頭である。有害捕獲頭数の地区別は、角館地区が19頭、西木地区が49頭、田沢湖地区が79頭で、昨年度の4倍である。農作物等への被害額は、約307万円であり、西木地区の栗園が大きな被害を受けた。

質問 鳥獣被害対策実施隊員等への報酬額は、他の自治体と比較してどうか。

答弁 報酬額については、市町村ではばらつきがあるが、年額2千円から2万7千円、日額2千円から1万円、時間額1,200円、出勤1回につき1千円から5千円である。

仙北市は、年額報酬は無く、箱わな設置1回1千円、見回り1回につき1千円、止め刺し1回2千円等で、玉川地区は遠距離につき、見回り2千円、止め刺し1回5千円である。

事務事業評価の廃止事業について

質問 今年度の評価で廃止とした防災行政無線及び山鳩館の通所支援事業は、高齢者の需要が高い事業であるが、代替施策は検討しているのか伺う。

答弁 防災行政無線は、令和7年度に廃止予定で、スマホでの情報伝達と戸別受信機での伝達を検討している。山鳩館は利用者減少で民間サービスに転換できることから廃止とする。空いている部屋は公民館的に利用可能にしたい。

(中村和彦記)



小田島広仁 議員

市民の考えを丁寧に聴き、市政に反映を！

市長 市民の皆様からの意見を真摯に受け止め市政を考える

インターナショナルスクール誘致事業について

質問 進捗状況は。

答弁 インターナショナルスクール誘致事業は2024年1月に国外4社から視察ツアー参加の意向がある。その際に田沢湖畔、高原等6箇所を候補物件としており、紹介予定となっている。また、インターナショナルスクール関係者へのインタビュー、モニター調査、専門メディア読者会員へのアンケートにより移動、交通ニーズの調査を行い、その結果に基づいた次年度の実証運行に向けた交通サービスの計画を策定する。

質問 視察ツアーの詳細と今後の進め方、手応えについて。

答弁 ツアーは1月22日〜24日の3日間で行い、物件候補も一緒に確認に行く。来年度以降はスクール本体だけでなく、ビジネスパートナーへのアプローチを行うための調査や実施計画を思案していく。仙北市の魅力を余すことなく伝えることができれば、成功する可能性は十分にあると感じているため、今後も全力で取り組んでいく。

市民のための地域公共交通について

質問 路線バスが廃止された田沢湖・角館間の交通についてどう考えるか。

答弁 羽後交通バス路線角館・田沢湖線には年間2千万円を超える運行費の補助をしていたが、乗降者数の減少、羽後交通の運転士確保が難しいことから廃止となった。しかし、移動への影響が及ぶ可能性も考えられることから、デマンド型タクシーの拡大や、通学バスの拡充を行った。今後も様々な可能性を検討し、最も使い勝手の良い公共交通を検討していく。

質問 田沢湖畔潟地区の田沢湖一周線が運行されているが、地域住民の「足」として不便である。交通体制を整える考えはあるか。

答弁 湖畔一周に時間を要してしまう現状ではあるが、観光客の利用も見られることから今後も費用面や利用者数、利便性を調査し、市民にとって利便性の高い公共交通の導入について検討していく。

県外、海外での市長公務について

質問 2023年11月の県外、海外公務でかかった費用はどのくらいか。

答弁 2023年11月は県外4回、海外3回で計7回の出張であり、旅費の合計額は約87万円となっている。

質問 来年度以降も台湾や海外での事業が増加するのか。

答弁 仙北市は、仙北市国際交流協会が早くから推進体制の整備を進め、他地域より一歩進んだ交流が実現できている。市長が参加することで交流事業が拡大するのであれ



■スマホで予約「行きたい所へ行ける」乗合交通「よぶのる角館」

次世代に向けた庁舎機能の移転・集約について

ば、来年度以降も訪問することを積極的に検討していく。

質問 現在の提案は、市民が分裂してしまうような不安を感じている。原案に〇か×かの二択ではなく、例えば議場と総務部は田沢湖庁舎に残し、極力コンパクトな上野庁舎を造り、旧角館病院は解体してしまうという、△的な考えを検討する余地はないのか。

答弁 田沢湖本庁舎の移転に対する不安の声は私も聞いている。ただ、田沢湖庁舎に本庁舎があつて、現状を見たとき、今後の仙北市の衰退が止まるかは甚だ疑問である。私は、現在の再々編案がベストと考え、確固たる決意を持って具体的に提案しているが、これに代わる提案があれば、数字的な根拠を示していただきたい。市の提案よりも優れているもの、また、そちらの方が正しいと思うものであれば変更もあり得る。

(澤田雅亮記)

住民税非課税世帯7万円給付体制は大丈夫か

公明党 熊谷一夫 議員



市長

同様の事業3万円給付を実施完了しているので問題ない

デジタル化推進で住民の利便性と行政の効率化を図ろう

質問 市民の申請主義を見直してデジタル化が進めば、利便性も効率化も飛躍的に向上する。特別定額給付金（一人一律10万円）支給に要した人員と経費、時間を伺う。今国会で決めた住民税非課税世帯7万円給付体制は大丈夫か。現行の「申請主義」の見解を伺う。

答弁 受付、書類審査、口座情報のシステム入力業務のために3か月間で市職員、会計年度任用職員併せて延べ1,270人、時間は、1万538時間、時間外手当と会計年度任用職員報酬、事務経費を含め1,589万円である。住民税非課税世帯7万円の給付は同様の事業3万円給付を実施完了しているので体制的には問題ない。申請には、多数の市民が公的給付支給等口座を登録ができていけばよいが、意思確認が必要であり、制度に沿って簡易に利用できる環境が整うまでは、市民からの申請手段、意思表示を残した事業実施が必要である。

質問 本市には、IT専門家、エンジニアは何人いるのか。

答弁 IT関係の国家資格合格職員が4人いる。市内事業者でIT専門家の人数は把握していないが、地域密着型DX推進企業「株式会社リベンリ秋田」には期待している。

質問 「デジタル田園都市国家構想」医療DX関連3事業の進捗状況と未来構想、交付金の財源見通しを伺う。

答弁 ①医療Maas事業は、令和6年1月末日車両納車、電子カルテ導入に向けた環境整備を12月中に終了。医師が遠隔地の患者宅まで往診に行く移動時間を短縮し診療時間を確保する。②PHR事業は、現在システム開発や機能実装作業中。令和6年2月中旬までにシステム開発が終了。発表公開は3月になる。市民の健康意識を喚起し健康寿命の延伸につなげる。③介護DX事業は、介護者装着のパワーアシストスーツ、入所者用の歩行ロボットを10台ずつ導入。12月中に見守りシス

テムや介護システムを導入。スタッフの操作研修を実施し年度内の運用開始を目指す。職員の腰痛症の解消、入所者の生きがい、満足度向上を図る。いずれも秋大医学部付属病院と連携して実施する。交付金は、導入時に交付され、維持管理や保守管理は一般財源となる。

DX時代の個性あるまちづくりを

質問 仙北市の独自性を生かしたまちづくりについての見解を伺う。

答弁 他市を訪問した際、観光資源や田沢の長芋など知名度の高さに驚く。観光や農業のさらなるブランド化に注力したい。農家民宿に泊まった都会の方々が感動して帰った姿を見て、地域や日常生活の



景品を増やす体制が望まれる健康ポイント事業

価値を共有して対外的に発信をしていきたい。

質問 DX推進が「幸福度ナンバーワンのみち」につながる事が、市民に理解されるように、市民へのアピール方法について伺う。

答弁 広報、HP、SNS、各種会合での声掛けに加えて、具体的な施策を通じて有益性を実感できるようにする。

健康ポイント事業の拡充を

質問 「健康せんぼくハッピー大作戦」の内容と参加数、効果等を伺う。

答弁 健康に関する活動への参加にポイントを付与し、10ポイント一口として景品に応募できる事業となっている。令和4年度は160人の参加。日頃からの運動の習慣化、特定検診受診率の向上、正しい健康知識を身に付けるなどの効果がある。

質問 市民へのPR施策について伺う。

答弁 市民の健康増進につながるように、事業の在り方を検討していく。

（平岡裕子記）



日本共産党 平岡 裕子 議員

生活応援灯油暖房費補助金の支給を

市長 国や県の動向を見ながら幅広く支援を行いたい

本庁舎機能移転事業と旧角館総合病院解体事業について

質問 ①工事費の見積額は、物価高騰の中で予算超過の可能性はないのか。②旧角館総合病院をなぜ早期に解体できなかったのか。また、アスベストの調査結果について伺う。③田沢湖・西木の庁舎利用案について。

答弁 ①角館上野庁舎として活用する管理棟改修費に約8億円を見込んでいます。専門家の意見を踏まえ、全体事業費の範囲内に収まるよう努めます。②新角館庁舎等の大規模事業と重なったこと、土壌汚染対策法に基づく調査の必要、公文書センターとしての利活用検討も重なり解体着工に至っていない。過去の調査で、機械室など病院棟一部にアスベスト使用の調査結果があり、屋内立ち入り禁止の処置をしている。③市民サービス窓口、公民館機能のほか、社会福祉協議会、老人クラブなどが入る計画となっている。

市民が安心して健康維持できるために

質問 ①医療Maas車両の配備時期は。対象患者の状況と人数、環境整備の進捗状況は。同乗する看護師の新たな資格や研修について問う。②生涯カルテがデジタルになるPHRの記録入力・管理について。個人情報安全性と器具の取得や管理について問う。③神代診療所の診療体制について。

答弁 ①令和6年1月末までに西明寺診療所に納入され、2月以降運用開始の予定である。対象患者は、西明寺診療所の利用患者のほか、西木地区の交通弱者も対象とした場合、独居老人350人が想定される。研修は看護師ではなく、市川先生が厚生労働省の定める研修を受講することになる。②原則として、利用者本人が入力・管理することになるが、他県の事例を参考に管理体制やマニュアル整備に努める。*PHRで活用する上腕式血圧計などは、管理番号を付与し管理することを想定している。③昨年6月に実施したアンケート結果を踏まえ、令和6年度から月・火曜

日の午後を休診する予定である。人件費削減により収支は改善される方向である。



名称が決まったせんぼくヘルスケア事業

仙北市生活応援灯油暖房費補助金支給について

質問 物価高騰対策として、住民税非課税世帯、均等割課税世帯への灯油暖房費補助金助成についての見解を伺う。

答弁 現状では均等割課税世帯までの対象範囲拡大は考えていないが、昨年度と同様に低所得者支援のための給付金等も活用し、国や県の動向を見ながら幅広く支援を行っていききたい。

市民の要望（陳情・請願）への進捗状況と今後の対応について

質問 ①市道羽根ヶ台線道路

改良工事について見解を伺う。②角館東前郷水道管未整備地区の工事着工について見解を伺う。

答弁 ①事業化実現に向けて、社会資本整備総合交付金などの財源確保に努める。②仙北市水道事業基本計画にも掲げており、事業化に向け水道加入意向調査、概算工事費や見込まれる料金収入を算定し、事業化を判断したい。

過去の事業経験を生かすために

質問 仙北市職員倫理条例は、職員にどれだけ浸透しているのか。

答弁 平成28年3月定例会において議員提出議案として制定された条例であり、法令遵守と綱紀粛正を徹底させる大変重要な条例で職員にも浸透していると認識する。市では、年3回倫理監督者である副市長名で通知し、市民の不信を招くような行為を防止する総合的な対策であることを全職員と認識を合わせたい。

(西宮三春記)

基盤整備後の農業をどうするのが見えない

荒木田俊一 議員



市長 農業に携わる方々と意見交換し支援策を考えたい

農林業の振興策について

質問 市内各地の基盤整備完了後の、県・国が推奨する高収益作物に対する市としての方向性や支援が見えないが、今後の農業をどう考えているのか。また、農地が整備され、農業機械のICT化が進む中で通信アンテナ等のインフラ整備について伺う。

答弁 基盤整備により、高収益に繋がる米以外の農業に期待している。農業に携わる方々と意見交換し、市の支援策を考えたい。ICT化のインフラ整備は、すでに着手している仙北平野土地改良区と協議し検討したい。

質問 地域の安全と林業振興に繋がる再造林に対する市の考え方を伺う。

答弁 森林整備は、国土や国民の命を守る事業と捉えており、今年度新たに、植栽及び下刈り事業に対し、国庫補助による再造林補助事業への嵩上げを実施した。

中小企業の振興策について

質問 人口減少に伴い、商店の減少に歯止めが無い状況に

あり、プレミアム商品券等の利用の大半は大型店であり、市税等への還流もない。もつと地元中小企業の振興策を考えるべきではないか。

答弁 ご指摘のとおり、商店等の減少対策となる有効な支援策に苦慮している。プレミアム商品券を含め、先進事例や事業者の意見に耳を傾け、商工会等関係団体と連携して支援策を検討したい。

質問 田沢湖黒沢工業団地だが、まだ見通しが無いのであれば、無料で貸すなど、企業に来ていただくための思い切った施策を打ち出してはどうか。

答弁 一日でも早く有効な活用を見出したいと考えている。もう少し時間をいただきたい。

観光産業の振興策について

質問 水沢地区、高原地区は保養所等が減少しており、ホテルも合併や、大手の資本も入り寂しい限りである。仙北市の観光産業に温泉事業は必要であると考え。源泉の購入単価の問題を含めて見解を伺う。

答弁 温泉事業は、温泉供給

設備の老朽化による修繕費等が増加し、一般会計からの繰入れで対処しているが、仙北市観光の目玉である水沢、高原地区の温泉事業は欠かせない。事業継続のために、温泉購入単価の引き下げ等の協議を継続する。

ふるさと納税寄付金増額補正の専決処分について

質問 ふるさと納税寄付金の増額見込みが10億円という高額な補正予算を安易に専決処分したが、本当に議会で提案するいとまがなかったのか。

答弁 9月定例会最終日の29日に提案するには、9月15日が事務処理のタイムリミットだったが、まだ補正額が曖昧で専決処分とした。段取りについて危機感が足りなかったと反省している。



■絨帳がないままの市民会館

市民会館の活用について

質問 市の文化の中心として、もつと積極的に自主事業を行うべきだ。また、市民会館の顔である駒草と龍が織り込まれた、絨帳のないステージは考えられないがどう思うか。

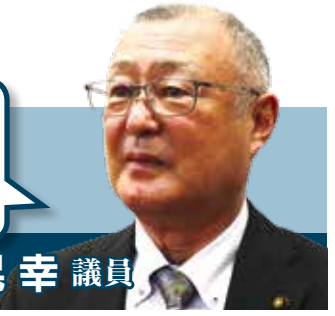
答弁 (教育長) 昨年度から市民企画を実施し、eスポーツやクラフト体験などで来館者は増加している。また、絨帳の設置費が4億5千万円であり、国や県の補助金情報も収集し、財源の確保を検討している。

職員の処分公表について

質問 10月から11月に職員の処分が相次いだが、担当する業務や発生原因を公表するべきではないか。また、再発防止対策はしているのか。

答弁 この度、懲戒処分の公表基準を策定した。事案の概要、処分内容、処分期日、所属、職名を報道機関に発表する。議員にも情報提供する。また、原因と対策を職員間で共有し再発防止に取り組んでいる。

(高橋輝彦記)



議員 幸 晃 脇 門 会 生 蒼

次世代に向けた庁舎機能の 移転・集約はどう進める

市長

市民の皆様へ寄り添って、
理解をしていただけるように努力していく

2月定例会での議案の否決を受けて

質問 行財政改革は仙北市においても大きな課題であるが、その内容によって痛みが応分に伴ってくるということで、進めるにあたって非常にこの部分がネックになってしまい、時には改革が思いどおりに進まない、スピード感が鈍るという要因にもなっていると認識している。

先の議会で、「敬老祝い金の改正」「消防団退職家族慰労金の廃止」の議案が否決されたことを受け、他の改革案との兼ね合いで不公平感が残ったままと考えるがどうか。

また、行政や議会に対して、イメージダウンとなったのではないのか。

答 部局経営方針シートによる様々な取り組みや、仙北市の危機的な状況を立て直すための行財政改革の中核を成すものとして実施した事務事業評価結果としての観点から顧みると、一部事業は結果が反映され、一部事業は反映されないという結果となったことは当局として極めて残念な結果である。

長年継続して

いた事業の廃止

という重い決断

であるにもか

かわらず、市当局

内部での判定の

みであったこと

や、事業により

影響を受ける関

係者への聞き取りについては

注力していたが、議会に対す

る事前説明が不足していたこ

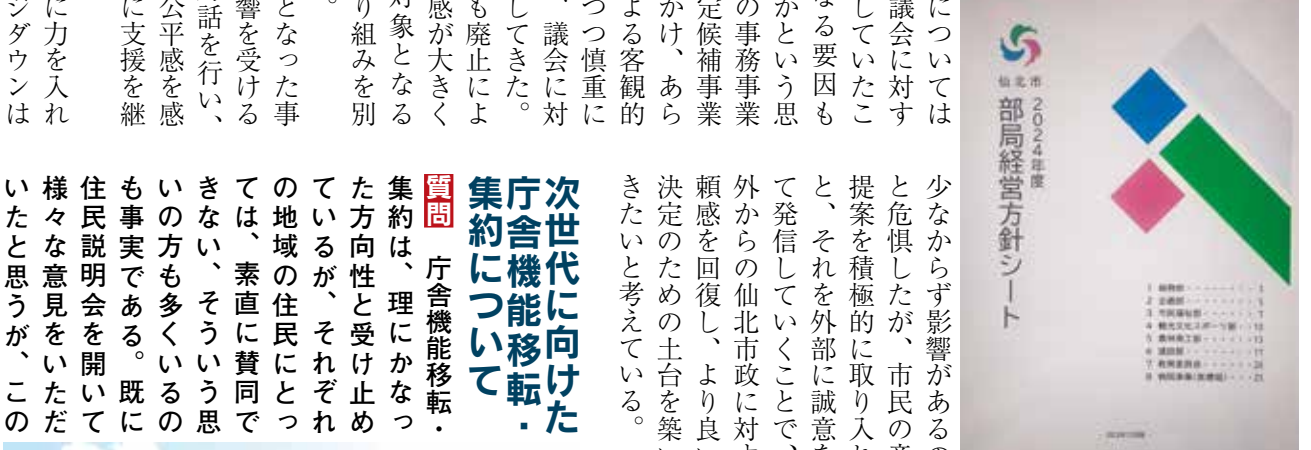
となど、否決となる要因も

あったのではないかという思

いもあり、今年度の事務事業

評価では、廃止判定候補事業

は全て外部評価にかけ、あらゆる分野の方々による客観的な意見を取り入れつつ慎重に判定を行った上で、議会に対して進捗を報告してきた。



■各部局の役割・使命・課題を示した部局経営方針シート

少ない影響があるのではと危惧したが、市民の意見や提案を積極的に取り入れること、それを外部に誠意をもつて発信していくことで、市内外からの仙北市政に対する信頼感を回復し、より良い政策決定のための土台を築いていきたいと考えている。

次世代に向けた 庁舎機能移転・ 集約について

質問 庁舎機能移転・集約は、理にかなった方向性と受け止められているが、それぞれの地域の住民にとっては、素直に賛同できない、そういう思いの方も多くいるのも事実である。既に住民説明会を開いた様々な意見を聞いたと思うが、この

移住・定住政策に力を入れている中、イメージダウンは



■どうなる次世代に向けた庁舎移転

賛同いただけない方々の理由をどう捉えているのか。
また、この方々の理解を得て、庁舎機能移転・集約を実現するには、どのような対策が必要と考えるのか。

答 市民説明会では、主に周知説明の徹底、財政への不安、災害時の対応、庁舎等の箱ものではなく市民サービスの充実をとの意見をいただき、より具体的な説明が必要との認識を持った。これらの意見に対し、さらに丁寧な説明を重ね、市民の御理解を得られるように努めていく。
(真崎寿浩記)



蒼生会 高橋輝彦 議員

白岩小学校閉校後の利活用はどうするのか

市長 地域の意向を十分に捉え具体的な検討を進めていきたい

来年度に向けたクマ被害対策を

質問 11月1日からの狩猟解禁後に7頭のクマ捕獲は、他市と比較して少ない。猟友会の高齢化もあるが、クマを捕獲した場合は慰労金を出さずなどして、もっと山に入って個体数を減らす施策ができないか。

答弁 県が7千円の慰労金を出すことになり、大館市と由利本荘市は上乘せするが、仙北市は検討させて欲しい。

質問 ハンター育成支援として狩猟免許取得の全額補助ができないか。また、来年度の新たなクマ人身被害対策は検討しているのか伺う。

答弁 (農林商工部長) 猟友会も高齢化しているので、狩猟免許を取得しやすいように、できるだけ補助を出せるよう検討していきたい。

新たな対策として、過去に出没のあった公園等に自動撮影カメラを設置し、早期の檻設置等の対応を行う。また、クマの檻を6基増設し、33基にした。

今冬の除雪体制について

質問 早朝に大量に積もった道路の雪は委託業者の判断で除雪できないか。また、市道の歩道除雪を県道の歩道並みに実施できないか伺う。

答弁 道路除雪は深夜から早朝に行く。安全性・効率性を考慮して、早朝から日中は出動しない。除雪作業の出動基準は10cm以上積もった時か積雪が見込まれる時に自動指示を出しており、県と同じ基準なので県道並みと想っている。

答弁 (建設部長) 歩道の除雪指令は車道の除雪と一緒に出している。車道が終わってから歩道を除雪する流れになっているので、時間差が発生する。



地域の意向を十分に捉えた利活用が検討される白岩小学校

子育て世帯が望む公園整備について

質問 以前の一般質問で、「遊具設置を存続する公園は、生保内公園、角館駅東公園、湯前山森林公園である。」と答弁しているが、残りの公園は遊具を撤去し、何も無くなることなのか。また、国土交通省の新たな支援制度「子どもまんなか公園づくり支援事業」を活用し、3公園だけでなく、子育て世帯が気軽に利用できる公園整備を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 遊具設置を存続するのは3公園である。他は遊具の維持管理が厳しく、遊具が使えない状態になれば撤去することになる。国の新たな支援事業は、都市公園整備の計画策定や不足エリアの分析等の整備支援に対する事業であり、仙北市の公園整備への活用は難しいが、子育て環境の充実を図る観点から、関係各課で検討していきたい。

事務事業評価に対する議会の関わり

質問 危機的な状況にある財政を立て直し、幸福度全国ナンバーワンにするために取り

組んでいる事務事業評価(見直し)について、議員の意見を求めることだが、今後は、議員の意見を事業評価に反映させていくということか。

答弁 市からの提案は、常にベストの思いで提案している。それに対して、議員から様々な意見をいただいたことを、市が再検討し、議員が指摘したとおりだと判断できれば、最終的に議員の意見を事務事業評価に反映させていくということである。

白岩小学校の利活用について

質問 白岩小学校閉校後の施設の利活用について、どのように進めていくのか伺う。

答弁 現段階での具体的な計画はない。今後、地域の意向を十分に捉え、利活用検討会などの組織を立ち上げ、地域の方々との話し合いを重ねていきたいと考えている。地域に学校が無くなることで活力が失われないよう、地域の活性化とあわせ、市も一緒に進めていきたいと考えている。

(小田島広仁記)